

教育研究評議会報

総務部総務課

○ 平成20年4月22日（火） 教育研究評議会

審議事項

(1) 琉球大学産学官連携推進機構（案）の設置について

研究協力課長から資料に基づき説明があり、審議の結果、産学官連携推進機構の設置について承認された。なお、規程（案）第7条及び第8条2項については「各部門長は知的財産に関する専門的知識を有する」等との文言を「各部門長は各部門に関する専門的知識を有する」に修正することとした。

(2) 琉球大学サバティカル制度（案）について

学術国際部長から資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおりサバティカル制度に関する規程が承認された。

(3) 国立大学法人琉球大学危機管理対策検討委員会規程（案）の制定について

総務課長から、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり危機管理対策検討委員会規程が承認された。

(4) 情報セキュリティポリシー（案）について

高良教授（学長補佐）から資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり情報セキュリティポリシーについて承認された。

(5) 琉球大学教員免許更新講習実施委員会規程（案）の制定について

教務課長から資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり教員免許更新講習実施委員会規程が承認された。

(6) 琉球大学学則の一部改正（案）について

教務課長から資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり学則の一部改正が承認された。

(7) 琉球大学外国人受託研修員規程の一部改正（案）について

学長から資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり外国人受託研修員規程の一部改正が承認された。

(8) 国立大学法人琉球大学と沖縄振興開発金融公庫との沖縄地域の産学連携に係る協力推進に関する覚書（案）について

学術国際部長から、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり沖縄地域の産学連携に係る協力推進に関する覚書が承認された。

(9) ソウル市立大学校（韓国）との大学間交流協定締結について

平副学長から資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおりソウル市立大学校との大学間交流協定締結について承認された。

報告事項

(1) 法人評価に係る各種報告書作成の進捗状況について

新里副学長から資料に基づき報告があった。なお、内容等不十分な箇所もあることから各学部との調整が必要であるのでご協力願いたい旨依頼があった。

(2) 全学教員人事委員会の審議結果報告について

嘉数副学長から、資料に基づき報告があった。

(3) 平成20年度入学者数について

新里副学長から、資料に基づき報告があった。

(4) 観光産業科学部設置記念式典等について

企画課長から、資料に基づき報告があり、併せて参加協力の依頼もあった。

(5) 琉球大学開学60周年記念誌編集委員会委員について

学長から、資料に基づき報告があり、記念誌作成のため、これまで蓄積した資料等の保存方法についても検討の必要性がある旨の説明があった。

(6) その他

学長から、平成20年3月27日に開催された独立行政法人国立大学財務・経営センター「平成19年度版国立大学の財務」刊行記念セミナーにおいて配付された資料について報告があり、大学予算について類似する大学との比較と本学の改善点について説明があった。

教育研究評議会報

総務部総務課

平成20年5月27日（火） 教育研究評議会

審議事項

(1) 学生生活委員会規程の一部改正（案）について

学生課長から資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり学生生活委員会規程の一部改正について承認された。

(2) 名誉教授候補者の選考について

人事課長から資料に基づき説明があり、5月末日にて退職する嘉数理事の名誉教授の選考について審議を行い、投票の結果、全会一致で承認された。

(3) 農学部改組について

企画課長から資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり農学部改組に係る設置計画について承認された。

(4) 大学院観光科学研究科の設置について

企画課長から資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり大学院観光科学研究科の設置に係る計画書について承認された。

報告事項

(1) 平成20年度科学研究費補助金交付内定状況について

学術国際部長から資料に基づき報告があった。学長から科研費等外部資金の獲得について補足説明があり、各委員に対し、外部資金の獲得に協力願いたい旨依頼があった。

(2) G8 科学技術大臣会合「環境とエネルギー問題」ワークショップ in 沖縄について

学術国際部長から「環境とエネルギー問題」ワークショップ in 沖縄について、参加者が、現在70名程度に達した旨の報告があった。

(3) 全学教員人事委員会の審議結果報告について

嘉数副学長から、資料に基づき報告があった。

(4) 平成19年度卒業生の就職状況について

就職センター長より資料に基づき報告があり、平成19年度卒業生に係る就職状況について平成18年度と比較した説明があった。

(5) その他

- ①観光産業科学部長より平成20年5月22日に開催された観光産業科学部の設置記念式典、講演会及び記念祝賀会への参加について、報告があり、併せてお礼の挨拶があった。
- ②学長より平成20年度科学技術振興調整費について本学が採用されたとのことで報告があった。
- ③学長より「やわらかい南の学と思想」との表題の書籍（本学の研究内容の発表）を発行した旨の報告があった。
- ④医学部長より本学の医師、医学部学生が不法投棄で書類送検された旨の新聞報道について、報告があった。

教育研究評議会報

総務部総務課

平成20年6月24日（火） 教育研究評議会

審議事項

- (1) 平成19事業年度に係る業務の実績及び中期目標期間（平成16～19事業年度）の法人評価の実施について
新里理事から資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。学長から、加除訂正等がある場合は、提出期限もあることから、早急に評価室へ連絡するよう依頼があった。
- (2) 琉球大学学則の一部改正（案）について
学生課長から資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり琉球大学学則の一部改正について承認された。
- (3) 琉球大学大学院学則の一部改正（案）について
学生課長から資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり琉球大学大学院学則の一部改正について承認された。
- (4) 琉球大学全学教員人事委員会規程の一部改正（案）について
人事課長から資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり琉球大学全学教員人事委員会規程の一部改正について承認された。
- (5) 医学部収容定員変更計画について
企画課長から資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり医学部収容定員変更計画について承認された。

報告事項

- (1) 平成21年度概算要求について
財務部長及び施設運営部長から資料に基づき報告があった。
- (2) 寒緋桜の寄付による植栽計画（案）について
施設運営部長から資料に基づき報告があった。
- (3) 全学教員人事委員会の審議結果報告について
大城副学長から、資料に基づき報告があった。
- (4) その他
①医学部長から、概算要求について、学内において採用されなかった項目等の理由等の確認があり、学長から「特色のない項目、話題性のない項目等」は不採用とした旨の説明があった。

- ②医学部長から、全学教員人事委員会の審議結果報告について、結果だけが公表されているが議論の過程で出された意見などについても報告できないかとの提案があり、大城副学長から今後検討していく旨の説明があった。
- ③学長から、国立大学協会総会等の会議内容について以下の報告があり、関係資料はメール等で各評議員に配付することとした。
- ・教育研究の世界的拠点施設へと発展させるために文部科学省として主要先進国の半分程度の教育研究予算を増加できないかとのことで財務省へアピールした。
 - ・研究担当局長から研究活動の統計を作成したところ、研究論文が増加している大学と減少している大学があり、増加している大学は外部資金等も増加傾向で、減少している大学は外部資金も減少傾向にあり、結果として大学の予算も減少する等報告があった。
 - ・全国共同利用施設について、今年度から来年度にかけて見直しを進める旨の報告があった。業績の少ない施設、小さい施設を認めないあるいは統合する等の方向に進んでいる。本学の熱生研についても対象となる可能性が高く、改組及び他大学との共同研究等含め、今後、検討する必要がある。
 - ・留学生30万人計画が内閣府から出ており、2020年までに計画を推進する。
 - ・人事院勧告で人件費の上昇分について運営費交付金も上げられないかとの他大学からの問いがあったが、運営費交付金については全事業費として交付しているため上昇分も含まれているとの考えが示された。
- ④観光産業科学部の平良評議員から、シニア短期留学二期生との記念植樹を予定しているとのことで、本学における植樹後の管理等についての質問があり、施設運営部長から施設運営部において植樹後についても十分管理している旨の説明があった。
- ⑤法務研究科長から、司法試験の一次結果について、本研究科から15名の合格者があった旨の説明があった。

教育研究評議会報

総務部総務課

平成20年7月22日（火） 教育研究評議会

審議事項

- (1) 琉球大学亜熱帯島嶼科学研究拠点を担う若手研究者育成プログラム実施運営規則（案）の制定について

平理事から「琉球大学亜熱帯島嶼科学研究拠点を担う若手研究者育成プログラム」実施について説明があった。また研究協力課長から、同プログラム実施運営規則（案）の制定について資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

報告事項

- (1) 農学部改組について

農学部長から、5月の教育研究評議会で審議した農学部改組に係る設置計画について、「治水システム工学科」を「地域農業工学科」に変更したこと、また「亜熱帯生物資源科学科」の3年次編入定員を5名にしたことにより収容定員が10名増えたことについて、資料に基づき報告があった。

- (2) 全学教員人事委員会の審議結果報告について

大城副学長から、全学教員人事委員会の審議結果報告について資料に基づき報告があった。

- (3) 環境報告書 2008（中間報告）について

施設企画課長から、環境報告書 2008（中間報告）について資料に基づき説明があり、また EA 21 現地審査のスケジュール等の説明があった。

- (4) 平成19年度監事監査意見書について

小池監事から、平成19年度監事監査意見書について資料に基づき報告があり、また同意見書を学内ホームページに掲載する旨説明があった。

- (5) その他

① 学長から、大学評価フォーラム資料「次期中期目標中期計画の策定に当たって」について資料に基づき説明があった。また、学内の提出締め切りは8月末としていたが、各学部の教授会の日程に合わせて、9月に入ってもよいこととした。

② 新里理事から、去る7月19日に開催されたオープンキャンパスは、昨年を大きく上回る約5,300名が参加したこと、また、高等学校進学指導担当者との懇談の中で、大学からの積極的な情報提供及び説明会を高等学校だけでなく予備校等でも行ってほしい等の意見があったことの報告があった。

③ 丸山理事から、事務系幹部職員の異動の紹介があった。

教育研究評議会報

総務部総務課

平成20年9月30日（火） 教育研究評議会

審議事項

(1) 国際沖縄研究所（仮称）の設置構想について

大城副学長から、資料に基づき、人文系センター（アジア太平洋島嶼研究センター、アメリカ研究センター、移民研究センター、アジア研究施設）を統合し、沖縄学の世界的研究拠点を形成する旨の説明があった。

また、学長から、運営費交付金との兼ね合いからも整備が必要である。この統合は法文学部で現在進めている特別教育研究経費「人の移動と21世紀のグローバル社会」の研究に大きく関わり、またこの統合により形成される沖縄の学の世界的研究拠点は、本学の大きな特色となる旨の発言があった。

評議員から、名称や名称の英訳についての質問があり、学長から、名称については外から見えやすいものにしたいこと、英訳についてはハワイ大学と相談したこと、Internationalは多義でまぎらわしい旨の説明があった。

審議の結果、「今後のスケジュール」に沿って、同研究所の設置に向けて検討することとなった。

(2) 医学部収容定員変更計画について

学長から、資料に基づき、「地域や診療科の医師確保の観点からの医師養成の推進」（経済財政改革の基本方針2008）による医学部収容定員増計画について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

(3) 大学基準協会の会員資格の変更について

新里理事から、資料に基づき、大学機関別認証評価を大学評価・学位授与機構で受審すること及び経費節減の観点から、大学基準協会の会員資格を正会員から賛助会員へ変更したい旨の説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

(4) 附属図書館長の選考について

学長から、現附属図書館長の任期が平成20年10月31日で満了することに伴い、資料に基づき、附属図書館長の選考について説明があった。

引き続き、医学部長から、資料に基づき、次期図書館長候補者の成富研二医学部教授について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

報告事項

(1) 大学機関別認証評価の受審について

新里理事から、大学機関別認証評価の受審を平成21年度から平成22年度に変更する旨の報告があった。

学長から、暫定評価結果をふまえて、資料に基づき、「次期中期目標・中期計画の作成」について説明があった。

(2) 全学教員人事委員会の審議結果について

大城副学長から、資料に基づき、全学教員人事委員会の審議結果報告があった。

(3) 平成21年度概算要求事項一覧について

財務部長から、資料に基づき、文部科学省から財務省への概算要求状況について報告があり、正式な内定は12月末になると思われるので、それまでは未確定である旨の説明があった。

引き続き、施設運営部長から、概算要求に係る施設整備事業の文部科学省による事業評価結果等についての報告があった。

(4) 環境報告書2008の公表について

施設企画課長から、環境報告書2008の公表について資料に基づき説明があり、去る9月25日に本学のホームページで公表したこと、今後は10月中旬に学外へ配布する予定であることの報告があった。

(5) 琉球大学開学60周年記念事業について

総務部長から、資料に基づき、60周年記念事業を行う実施体制及び事業（記念誌の発行、記念式典の実施、江戸上り探検隊〔沖縄～鹿児島～京都～東京都〕を組織し各地点でシンポジウム等を実施する）等について報告があった。

(6) 那覇空港国内線ターミナルにおける大学広報等について

総務部長から、資料に基づき、那覇空港国内線ターミナルにおける大学広報活動等について報告があった。また、各学部においては、特色ある学部を紹介する原稿を提出していた旨の説明があった。

(7) 学生表彰について

学生課長から、資料に基づき、理工学研究科の学生2名（平成20年度9月修了）を表彰したことについて報告があった。

(8) 平成20年度琉大祭について

学生課長から、資料に基づき、第57回の琉大祭が10月4日（土）・5日（日）に開催される旨の報告があり、併せて琉大祭への協力依頼があった。

(9) スペース・コラボレーションシステム事業（SCS）の終了について

研究協力課長から、資料に基づき、本年度をもってメディア教育開発センターが廃止されること及び機器の故障等に伴い、本学の同事業を9月をもって終了することについて報告があった。

(10) 平成20年人事院勧告について

人事課長から、資料に基づき、平成20年度人事院勧告の説明があった。

(11) その他

①カリキュラム改革アドホックグループの審議結果について

平理事から、資料に基づき、カリキュラム改革アドホックグループの審議結果について報告があった。

②講演会「情報リテラシー教育と図書館」の開催について

附属図書館長から、資料に基づき、10月10日に開催される講演会「情報リテラシー教育と図書館」について報告があった。

③2008年度新司法試験の結果について

法務研究科長から、新司法試験の結果について、本研究科から3名の合格者があった旨の報告があった。

④第二期中期目標・中期計画の策定体制について

大城副学長から、資料に基づき、第二期中期目標・中期計画の策定体制について報告があった。

⑤職員の異動の紹介について

学長から、理事（総務担当）の異動の紹介があった。
引き続き、総務部長から、事務系幹部職員の異動の紹介があった。

教育研究評議会報

総務部総務課

平成20年10月28日（火） 教育研究評議会

審議に入る前に、学長から、井手副学長（新任評議員）及び舟木附属図書館情報サービス課長（新任幹部職員）の紹介があった。

審議事項

(1) 教員の休職について

人事課長から、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり教員の休職が承認された。

報告事項

(1) 平成19年度に係る業務の実績に関する評価結果について

新里副学長から、資料に基づき、平成19年度に係る業務の実績に関する評価結果について報告があった。

(2) 全学教員人事委員会の審議結果について

総務部長から、資料に基づき、全学教員人事委員会の審議結果について報告があった。

また、学長及び新里副学長から、教員選考基準については全学的に統一することは難しいが、認証評価等にも関わるため、各学部では教員選考に関する規則について引き続き検討してほしい旨説明があった。

(3) 平成20年度（第57回）琉大祭について

学生課長から、資料に基づき、去る10月4日（土）・5日（日）に開催された第57回琉大祭の実施及び学外からの参加者数（約25,000人、昨年比5,000人増）について報告があった。

(4) 学生援護会への寄附状況について

学生課長から、資料に基づき、平成20年度7月期募集分の学生援護会への寄附者数等の状況について報告があった。

(5) 大学入試センター試験英語リスニング試行テストの実施について

新里副学長から、去る10月11日（土）に行われた大学入試センター試験英語リスニング試行テストの実施及び受験者数（全国約45,000人、本学253人）について報告があった。なお、機器1台の不具合があり、大学入試センターに確認中である旨の説明があった。

(6) 千本桜植樹祭について

施設運営部長から、3年計画のうちの3年目となる千本桜植樹祭が11月29（土）に宜野湾口周辺において実施される旨、資料に基づき説明があり、本植樹祭への参加の呼びかけがあった。

(7) その他

① 夏休み期間の変更について

新里副学長から、来年度から実施される教員免許更新に伴い、本学の夏季休業期間を、現在の期間（8月中旬～9月末）から小中学校の夏休み期間に合わせた期間（7月中旬～8月末）に変更することについて検討中である旨、参考資料（平成11年度学年暦）に基づき説明があった。

学長から、以前、夏季休業期間を変更した経緯を調べた上で、各学部からの意見等をもとに、教育担当副学長を中心に引き続き検討していただきたい旨の発言があった。

②中期目標期間における教育・研究評価に係る訪問調査について

新里副学長から、11月10日（月）・11日（火）に中期目標期間における教育・研究評価に係る独立行政法人大学評価・学位授与機構による訪問調査が行われる旨の報告があった。

③学生と学長との意見交換会について

新里副学長から、11月27日（木）学生と学長との意見交換会を予定している旨の報告があり、併せて協力依頼があった。

④「琉球大学の特徴を出す」ための包括的方針（財政面）について

宮城副学長から、資料に基づき、「琉球大学の特徴を出す」ための包括的方針（財政面）について、大学院生の経費、研究支援については、現在ドクターの学生11名に対し授業料免除する方向で調整していること、研究費配分については、予算確保について後援財団等と調整しながら検討していくことの報告があった。

⑤カリキュラム改革アドホックグループについて

法文学部長から、カリキュラム改革アドホックグループの役割及び新聞報道（10月26日付け）による来年度の非常勤講師計画の方針等について教えていただきたい旨の発言があった。

これを受け、学長、新里副学長、平副学長及び大学教育センター長から、下記のとおり説明があった。

- ・ 共通教育の外国語のカリキュラム改革を目的に、平成20年2月の部局長等懇談会で「カリキュラム改革アドホックグループ」の設置を諮り、検討を進めた。その後、全学教育委員会からカリキュラム改革アドホックグループに、カリキュラム改革に係る具体的な実施策について検討するよう要請があり、平成20年5月27日付けで全学教育委員会あて答申した。
- ・ 共通教育の外国語のカリキュラム改革については、共通教育改革の一環として行い、共通教育の講義はできるだけ常勤の教員が担当し、学生の語学力の向上に努めていただきたい。
- ・ 本学は、非常勤講師の割合が他大学と比べ非常に高く、共通教育の非常勤講師の人件費についても同規模大学の約3倍と高く、教育研究経費の配分に影響している。
- ・ 非常勤講師について、本職（他大学等）を持っている場合及び儀礼的な相互交流を目的とした大学間の招聘を今後は行わないこと、長期に渡り本学で勤務いただいた非常勤講師及び本学の講義で生計を立てている非常勤講師については配慮すること、退職した非常勤講師の後任を補充しないこと等、長期的視点に立って対応していただきたい。
- ・ 新聞報道（10月26日付け）にあった非常勤講師対象の説明会については、非常勤講師の要請を受け、平副学長及び新里副学長が説明等を行った。
- ・ 今後は、カリキュラム改革については全学教育委員会及び本評議会で審議する予定である。
- ・ 去る10月23日に開催した「経営協議会」及び「経営協議会委員と部局長等懇談会構成員との意見交換会」でも、非常勤講師のあり方及び共通教育のカリキュラム改革について話題になった。

⑥任期満了に伴う委員の紹介について

学長から、附属図書館長の親川兼勇教授が10月31日付けで任期満了することに伴い、これまでのご尽力に対し、謝辞が述べられた。

教育研究評議会報

総務部総務課

平成20年11月25日（火） 教育研究評議会

学長から、附属図書館長（新任評議員）の成富研二医学部教授の紹介があった。

審議事項

(1) 琉球大学国際沖縄研究所（仮称）設置準備委員会要項（案）について

研究協力課長から、琉球大学国際沖縄研究所（仮称）設置準備委員会要項について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

(2) 大学院学則の一部改正について（案）

新里副学長から、検定料、入学科及び授業料の取扱いに関する大学院学則を一部改正する旨、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

(3) 諸規程の一部改正について（案）

① 転学部、転学科、転課程に関する規程の一部改正について

② 再入学規程の一部改正について

③ 科目等履修生規程の一部改正について

④ 研究生規程の一部改正について

教務課課長代理から、手続き期間の変更及び研究生の身分に関わる除籍規定について、諸規程を一部改正する旨、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

(4) 学生の懲戒処分について（案）

新里副学長から、学生生活委員会での審議結果について、資料に基づき説明があった。

引き続き、理学部長から、事実関係調査報告書及び理学部教授会での審議結果について、資料に基づき説明があった。

審議の結果、処分理由の「(6) 代理受験を依頼した方が罪が重いと考えられること」については削除することとし、学生の懲戒処分（訓告）が承認された。また、懲戒処分は学生部及び各学部の掲示板に掲載することが確認された。なお、学則（第54条 懲戒）については、既に便覧に掲載しているが、細かい基準についても、今後便覧に掲載することとなった。

報告事項

(1) 平成21年度予算編成方針について

財務企画課長から、平成21年度予算編成方針について、資料に基づき報告があった。

また、学長から、予算の執行を年度末に集中するのではなく、年間を通して執行していただきたい旨の発言があった。

(2) 平成22年度概算要求の基本方針について

財務企画課長から、平成22年度概算要求の基本方針について、資料に基づき報告があった。学長及び宮城副学長から、各部局等においては早めに概算要求に取り組んでいただきたい旨の発言があった。

(3) 全学教員人事委員会の審議結果について

大城副学長から、全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。

(4) 共通教育等カリキュラム改革について

新里副学長から、共通教育等カリキュラム改革について、資料に基づき説明があった。

(5) 共通教育等科目のプロフェッサー・オブ・ザ・イヤー（平成19年度）受賞者について

新里副学長から、共通教育等科目のプロフェッサー・オブ・ザ・イヤー（平成19年度）受賞者について、資料に基づき報告があった。

(6)薬物乱用防止について

新里副学長から、薬物乱用防止について、各学部等において注意喚起していただきたい旨、資料に基づき説明があった。

(7)エコアクション21について

施設運営部長から、エコアクション21の認証・登録証が交付された旨、資料に基づき報告があった。

(8)その他

①国大協総会について

学長から、11月4～5日に開催された国大協総会について報告があった。

②次期中期目標・中期計画期間に向けての意見交換について

大城副学長から、11月17日に文部科学省で行われた次期中期目標・中期計画期間に向けての意見交換について、資料に基づき報告があった。

③平成21年度年度計画の策定について

大城副学長から、最終年度となる平成21年度の年度計画（教育・研究）について、12月15日（月）までに提出するよう各部局等に依頼した旨の報告があった。

④専任教員数調べについて

学長から、設置基準に則った大学教育を行うため、必要とされる専任教員数について、各学部において現況を調べていただきたい旨の説明があった。

⑤学科長と学長との意見交換会について

学長から、現場の意見を聴取したいので、各学科長と学長との意見交換会を予定している旨の説明があった。

⑥琉球大学同窓会関東支部総会及び九州・山口支部総会について

宮城副学長から、去る10月11日に開催された同窓会関東支部総会及び11月8日に開催された九州・山口支部総会について報告があり、同窓会関東支部から、本学開学60周年記念事業について、協力の申し出があった旨の説明があった。

⑦裁判員制度（平成21年5月21日開始）に関する広報について

宮城副学長から、裁判員制度（平成21年5月21日開始）に関する周知を照屋常信本学同窓会九州・山口支部長から依頼されたことについて、報告があった。また、学内広報ホームページから最高裁判所の裁判員制度にリンクするよう設定したので、各部局等において、周知いただきたい旨の説明があった。

⑧大学等環境安全協議会について

宮城副学長から、去る11月12～14日に開催された大学等環境安全協議会について報告があり、また、企画プログラム（ミニシンポジウム）開催への協力について謝辞が述べられた。

⑨一般選抜（後期日程）の合否判定の日程について

工学部長から、一般選抜（後期日程）の合否判定を行う教授会の開催について、3月20日（金）（春分の日）から19日（木）の夕方に繰り上げて開催することが可能かどうか質問があった。入試課課長代理から、検討する旨の説明があった。

教育研究評議会報

総務部総務課

平成20年12月22日（月） 教育研究評議会

審議事項

- (1)平成21年度学年暦（案）について
教務課長から、平成21年度学年暦（案）について資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- (2)平成21年度内地研究員の決定について（案）
研究協力課長から、平成21年度内地研究員の決定について資料に基づき説明があり、引き続き、理学部長から、当該教員の不在時の教育の体制については、万全を期したい旨の説明があった。
審議の結果、原案どおり承認された。
- (3)教員の休職について（案）
人事課長から、教員の休職について資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

報告事項

- (1)平成20年度年度計画に係る業務の実施状況（中間）等の作成について
新里副学長から、平成20年度年度計画に係る業務の実施状況（中間）等の作成について、各学部等に依頼したが、未提出学部においては、年内に提出いただきたい旨、資料に基づき説明があった。
学長から、「引き続き検討する」というような記載は避け、できるだけ具体的に記載願いたい旨の説明があった。
- (2)大学基準協会正会員退会並びに賛助会員加入について
新里副学長から、本学の大学基準協会正会員の退会並びに賛助会員への加入について、大学基準協会理事会において承認された旨、資料に基づき報告があった。
- (3)国際沖縄研究所（仮称）設立準備委員会委員について
研究協力課長から、国際沖縄研究所（仮称）設立準備委員会委員について資料に基づき報告があった。
- (4)平成20年度上半期の決算概況について
財務企画課長から、平成20年度上半期の決算概況について資料に基づき報告があり、経費の執行が例年年度末に集中しているので、各学部等においては、早期執行をお願いしたい旨の説明があった。
- (5)全学教員人事委員会の審議結果について
大城副学長から、全学教員人事委員会の審議結果について資料に基づき報告があった。
- (6)インターンシップについて（中間報告）
平副学長から、本学学生のインターンシップについて、沖縄県や県内企業から、大学としてとりまとめられないかという要望があり、また、去る10月14日の部局長等懇談会で観光産業科学部長から同様の要望があった。教育学部と医学部（資格取得に関する学部）を除いた各学部の教員と検討したことについて、資料に基づき中間報告があった。
学長から、各学部等においては、企業からの求人をよく分析し、大学にふさわしいインターンシップ及び就職先について指導してもらいたい旨の説明があった。
- (7)学生と学長との意見交換会について
学長及び新里副学長から、去る11月27日に開催された学生と学長との意見交換会について、資料に基づき報告があった。
- (8)琉球大学学生援護会寄附金（12月期）の募集について
学生課長から、琉球大学学生援護会寄附金（12月期）の募集についてご協力いただきたい旨、資料に基づき報告があった。

(9) 琉球大学ロゴマークの再募集について

学生課長から、琉球大学ロゴマークを募集し、入賞者3名（佳作）を選考したが、優秀賞の該当がなかったことから、ロゴマークを再募集することについて、資料に基づき報告があった。

学長から、各部局等においては、学生・教職員に十分周知されるよう努めてもらいたい旨の説明があった。

(10) 千本桜植樹祭について

大城副学長から、去る11月29日に開催された千本桜植樹祭について報告があり、また、開催への協力について謝辞が述べられた。

学長から、今後、計画的な植樹について、工学部の都市や公園の計画を専門とする教員と施設運営部で調整しながら進めてもらいたい旨の発言があった。

(11) 琉球大学びぶりお文学賞授賞式について

附属図書館事務部長から、琉球大学びぶりお文学賞について、選考委員会において、資料のとおり、学長賞1編及び佳作3編を選考し、去る12月17日に授賞式を開催した。なお、選考結果については、今後、図書館報びぶりおに掲載予定である旨の報告があった。

(12) その他

① 那覇空港国内線ターミナルにおける大学広報等について

学長から、那覇空港国内線ターミナルにおける大学広報等について、空港に設置したパネル展及び大学案内（パンフレット）が好評なため、本学に関する社会の関心が高いことが伺われる旨の報告があった。

② 観光科学研究科の設置認可について

学長から、観光科学研究科が文部科学省から設置認可されたことについて報告があり、教員採用にあたっては、高いレベルの教員を採用してもらいたい旨の説明があった。

③ 医学部収容定員変更計画認可について

学長から、医学部が文部科学省から収容定員変更計画について認可された旨の報告があった。

④ 訴訟事件に係る教員の取扱いについて

新里副学長から、訴訟事件に係る和解の内容について報告があった。セクシャルハラスメント調査委員会において最終報告をとりまとめていただく。今後、同様の事案がないよう、大学として適切な対応を諮っていく旨の報告があった。

⑤ 平成21年度の概算要求の内示について

宮城副学長から、平成21年度の概算要求について、近日中に文部科学省から内示がある予定で、詳細については、今後、担当部署から各部局等に報告する予定である旨の説明があった。また、当初運営費交付金が3%減少することだったが、大臣間折衝において、1%減少となったこと、科学研究費が増額され、日本学術振興会の特別研究員制度も200人増加される予定であること、各学部等においては、こうした外部の動きに適切に対応し、若手教員が外部資金を獲得できるよう支援願いたい旨の説明があった。

⑥ 年末・年始の日程、学長年頭挨拶及び新年賀詞交歓会について

総務課長から、年末・年始の日程について報告があり、1月5日の学長年頭挨拶及び新年賀詞交歓会への参加の呼びかけがあった。なお、新年賀詞交歓会については、ノンアルコールとなる旨の説明があった。

⑦ 希望進路・決定進路Web登録について

就職センター長から、学生の就職状況については、ハローワークに報告することになっており、本学では、学生自身が就職状況についてWeb登録をすることになっているが、現在の内定状況の登録状況は、学部学生においては1800人中220人、大学院生においては420人中52人であるため、各学部等において、指導教員から学生に対し、積極的にWeb登録するよう周知いただきたい旨の説明があった。

教育研究評議会報

総務部総務課

平成21年1月27日（火） 教育研究評議会

審議の前に、本年最初の会議の開催に当たり、学長から、後述のとおり、評価等を踏まえた特色ある大学作りを目指していくので、各部局等においても、積極的に取り組んでもらいたい旨のあいさつがあった。

審議事項

(1) 大学学則等の一部改正について（案）

- ① 大学学則の一部改正について
- ② 大学院学則の一部改正について
- ③ 学位規則の一部改正について

教務課長から、資料に基づき説明があり、審議の結果、一部字句を修正の上、承認された。

報告事項

(1) 平成21年度概算要求内示について

財務企画課長から、平成21年度概算要求内示について、資料に基づき説明があった。
計画整備課長から、平成21年度施設整備費概算要求事項に係る実施予定事業について、資料に基づき説明があった。

(2) 科学研究費補助金等への未申請教員に対する措置について

研究協力課長から、中期目標・中期計画に基づき、科学研究費補助金の申請率及び採択率の向上を図るため、科学研究費補助金等への未申請教員に対して行う措置の内容、対象者等について、資料に基づき報告があった。

学長から、学部によっては、申請率が低いところもあるため、各学部等においては、外部資金の獲得に努めて欲しい旨の発言があった。

(3) 「亜熱帯島嶼科学研究拠点を担う若手研究者育成プログラム」若手研究者の採用について

研究協力課長から、「亜熱帯島嶼科学研究拠点を担う若手研究者育成プログラム」申請者の応募・公募状況及び選考結果について、資料に基づき報告があった。

(4) 全学教員人事委員会の審議結果について

大城副学長から、全学教員人事委員会の審議結果について資料に基づき報告があった。

(5) 大学入試センター試験について

新里副学長から、去る1月17日及び18日に実施された大学入試センター試験について報告があった。

(6) その他

① 第二期中期目標・中期計画策定の進捗について

大城副学長から、第二期中期目標・中期計画策定の進捗について、WG及び策定委員会で、学士力、リベラル・アーツ型教育、教育課程の学習成果の評価、基礎研究等について議論している。また、現在、教育と研究についての一次素案をまとめており、近日中に、学部等へフィードバックする予定であるので、各学部等においては、将来構想検討委員会等で検討していただきたい旨の報告があった。

② 学生の事故等について

新里副学長から、年末・年始期間中における学生の事故等について報告があった。また、各学部等においては、学部学生及び大学院生に対し、良識に基づいた行動をとるよう指導願いたい旨の発言があった。

③ 薬物乱用防止について

学長から、各学部においては、指導教員等から学生に対し、薬物乱用防止等について指導願いたい旨の発言があった。

④ 「沖縄地域学リポジトリ」試験公開記念講演会について

附属図書館長から、2月6日に行われる「沖縄地域学リポジトリ」試験公開記念講演会について報告があった。

⑤ 報道機関との懇談会について

学長から、去る1月22日に開催した琉球大学と報道機関との懇談会について、報道機関から、研究成果等及び学生の活躍についての学外への情報発信が十分でないことから、情報発信の方法を検討してもらいたい。また、研究者の意見を聴取したい場合の連絡体制を整備して欲しい等の意見があった旨の報告があった。

【学長あいさつの主な内容】

○評価について

独立行政法人大学評価・学位授与機構による「中期目標の達成状況に関する評価結果（案）」について、本学の評価結果は、全国の他大学と同様に、「目標の達成状況がおおむね良好である」（五段階評価のⅢ〔中間〕）となっている。また、改善を要すると指摘されている点として、以下のとおり報告があった。

- ・ 中期目標で「専門教育科目と共通教育科目の連携を重視し、科目の精選・統合・新設等を行う」としていることについて、一部の学部において、科目の統廃合の取組が十分であるとはいえないことから、改善することが望まれる。
- ・ 中期計画「「アジア太平洋島嶼研究センター」「アメリカ研究センター」等にあつては、特に国内の共同研究に止まらず、広く国際的な共同研究を推進する」について、アジア太平洋島嶼研究センターとアメリカ研究センターは、国際シンポジウム等を行っているものの、研究成果・情報について、各センターに専任教員が配置されていないこともあり、センターの業績として集約されていないことから、改善することが望まれる。

○研究について

年頭あいさつでも述べたが、基礎研究を重視してもらいたい。また、若手や女性の研究者の支援等について、後援財団等と連携しながら、進めてもらいたい。グローバルCOEプログラムの獲得、沖縄学及び防災研究等、特色ある研究についても取り組んでもらいたい。

教育研究評議会報

総務部総務課

平成21年2月24日（火） 教育研究評議会

審議事項

(1) 平成21年度年度計画（案）について

大城副学長から、平成21年度年度計画（案）について、資料に基づき説明があり、この年度計画案については各部局等へ持ち帰り検討の上、意見等があれば3月6日までに総務部企画課まで連絡いただきたい旨の説明があった。また、今後の年度計画策定に当たってのスケジュールとして、3月9日開催の経営協議会、3月24日開催の教育研究評議会及び臨時役員会に提案した上で、3月末までに文部科学省へ提出する予定である旨の説明があった後、次のような意見交換があった。

- ・学長から、第二期中期目標・中期計画及び暫定評価等をもとに、文部科学省が運営費交付金を配分すると考えられるため、年度計画には、希望を書くのではなく、具体的に実施すること及びその方策について記載し、エビデンスを提出するようにしていただきたい旨の発言があった。
- ・学長から、用語等については、大学における教育として、学士力やリベラル・アーツ、基礎科学等について、各部局等において議論していただきたい旨の発言があった。
- ・大城副学長から、第二期中期目標・中期計画の作業終了後、第二期中期目標・中期計画について、説明会等を実施する予定である旨の発言があった。
- ・評議員から、授業評価アンケートを行っても、各教員の授業評価結果等について公表していないため、問題点や改善点について議論することが難しい。各授業評価結果等について、公表していただきたい旨の発言があり、学長から、個人評価の問題があるため、各教員の授業評価結果等について、公表することは難しい旨の発言があった。
- ・新里副学長から、各部局等において、各部局等の長がFD活動等に十分介入できていない部分があると思われるため、改善について検討する必要があるのではないかと発言があった。

(2) 熱帯生物圏研究センターと分子生命科学研究センターの統合及び新熱帯生物圏研究センター（仮称）設置準備委員会要項（案）の制定について

① 研究協力課長から、熱帯生物圏研究センターと分子生命科学研究センターの統合の経緯について、また、熱帯生物圏研究センター長から、両センターの統合の内容及び今後のスケジュールについて、資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

なお、学長から、文部科学省が全国共同利用施設の在り方を見直しており、本学においても両センターを統合することとなったが、この統合により、両センターの業績の向上が期待される旨の発言があった。

② 研究協力課長から、新熱帯生物圏研究センター（仮称）設置準備委員会要項の制定について、資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

なお、学長から、本準備委員会については、熱帯生物圏研究センター長を委員長、分子生命科学研究センター長を副委員長とする予定である旨の説明があった。

(3) 工学部教員の非違行為に関する調査報告書について

工学部長から、工学部教授会からの工学部教員の非違行為に関する調査報告書について、資料に基づき報告があった。

工学部教員の非違行為について、審議の結果、本評議会のもとに、同非違行為に対する調査及び審査説明書作成委員会を設置することとした。

報告事項

(1) 全学教員人事委員会の審議結果について

大城副学長から、全学教員人事委員会の審議結果について資料に基づき報告があった。

(2) 法文学部教員の不祥事について

新里副学長から、法文学部教員に係る不祥事について、調査委員会から学長に対し最終報告があり、指摘のあった教員の行為に対しては、大学教員としてあるまじき行為であるという非常に厳しいものであった旨の報告があった。今後の進め方として、今回の事案に係る同教員に対しての対応や再発防止を含め、法文学部において検討してもらい、その後、法文学部における検討結果を踏まえ、大学としての対応を検討することになった。

(3) 就業規則等の改正（案）について

人事課長から、今年度予定している就業規則等の改正（案）の主な内容について、資料に基づき説明があり、労働組合との意見交換及び調整が終わり、現在、職員への説明会及び過半数代表者の選出の手続きを行っている旨の報告があった。

(4) 平成21年度入学志願者数（一般選抜）及び前期・後期試験日程について

入試課長から、平成21年度入学志願者数（一般選抜）について、資料に基づき報告があった。なお、他大学の状況について、次のとおり報告があった。

- ・九州の各大学の状況として、大分大学を除く各大学とも志願者が減少する傾向にある。なお、医学部医学科において足きりを導入した熊本大学が約1,100名減、宮崎大学が約880名減となっている。
- ・工学部については、九州地区の他の大学において、本学と同様に減少傾向にあるわけではないようである。
- ・観光産業科学部についても、和歌山大学を見てみると、前期は減っているが、後期は増えており、全体としては若干増えていて、本学と同じ状況ではない。

引き続き、新里副学長から、2月25日～26日に実施する前期試験及び3月12日～13日に実施する後期試験について協力依頼があった。

学長及び新里副学長から、開門時刻については、警備上の問題から、例年通りとした旨の発言があった。

(5) その他

① 附属病院における医療安全管理体制の強化について

附属病院長から、去る1月に起こった医療事故の経緯についての報告及びお詫びがあり、今後、職員一丸となって医療安全管理体制の強化を図る旨の発言があった。

教育研究評議会報

総務部総務課

平成21年3月24日（火） 教育研究評議会

審議事項

(1) 平成21年度年度計画（案）について

大城副学長から、平成21年度年度計画（案）について、前回の本評議会以降、各部局等から提出された意見等を踏まえ、修正した箇所を中心に、資料に基づき説明があり、審議の結果、一部修正することとして了承された。なお、今月末に文部科学省へ提出するため、それまでに意見等があれば大城副学長へ連絡していただきたい旨の発言があった。

(2) 中期目標・中期計画の変更について

総務部長から、中期目標・中期計画の変更について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(3) 琉球大学大学院学則等の一部改正及び規程の制定（案）について

- ① 琉球大学大学院学則の一部改正（案）について
- ② 琉球大学の授業料等の免除及び徴収猶予取扱規程の一部改正（案）について
- ③ 琉球大学大学院博士課程特待生要項の制定（案）について
- ④ 琉球大学大学院博士課程特待生の推薦人数に関する申合せの制定（案）について

新里副学長から、琉球大学大学院学則等の一部改正及び規程の制定について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(4) 副学長設置に伴う学則等の一部改正及び規程の制定（案）について

- ① 琉球大学学則の一部改正（案）について
- ② 琉球大学副学長に関する規程の制定（案）について
- ③ 理事及び副学長の職務分担等（案）について
- ④ 琉球大学組織規則の一部改正（案）について
- ⑤ 琉球大学産学官連携推進機構規則の一部改正（案）について
- ⑥ 琉球大学研究・国際交流に関する自己点検・評価委員会規程の一部改正（案）について
- ⑦ 琉球大学社会連携に関する自己点検・評価委員会規程の一部改正（案）について
- ⑧ 琉球大学地域貢献推進委員会規程の一部改正（案）について

総務部長から、副学長設置に伴う学則等の一部改正及び規程の制定について、資料に基づき説明があり、審議の結果、学則の条項の途中に副学長等の設置根拠規定を入れているが、学則の条項を根拠規定としている部局の規則等もあり、条ずれは混乱を生じさせるとの意見を踏まえ、一部修正することとして了承された。

(5) 教員免許状更新講習実施に伴う学則の一部改正及び規程の制定（案）について

- ① 琉球大学学則の一部改正（案）について
- ② 琉球大学教員免許状更新講習規則の制定（案）について
- ③ 琉球大学教員免許状更新講習実施室規程の制定（案）について

教務課長から、教員免許状更新講習実施に伴う学則の一部改正及び規程の制定について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(6) ロゴマークに関する規程（案）の制定について

新里副学長から、ロゴマークの選考された経緯について、また、総務部長から、ロゴマークに関する規程について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(7)規則等の制定（案）について

- ① 琉球大学国際沖縄研究所規則の制定（案）について
- ② 琉球大学国際沖縄研究所運営委員会規程の制定（案）について

研究協力課長から、規則等の制定について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(8)規則等の一部改正（案）について

- ① 琉球大学学則の一部改正（案）について
- ② 琉球大学熱帯生物圏研究センター規則の一部改正（案）について
- ③ 琉球大学熱帯生物圏研究センター協議員会規程の一部改正（案）について
- ④ 琉球大学熱帯生物圏研究センター運営委員会規程の一部改正（案）について
- ⑤ 琉球大学熱帯生物圏研究センター放射線障害予防規程の一部改正（案）について

研究協力課長から、規則等の一部改正について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

なお、評議員から、当該センター長は当該センターの専任の教授でなくてよいのかという旨の発言があり、熱帯生物圏研究センター長から、設立当初は学外から起用したこと、また全国共同利用施設であるという観点からも、専任でなくてもよいのではないかという旨の発言があった。

(9)琉球大学における大学教員の任期に関する規程の一部改正（案）について

人事課長から、琉球大学における大学教員の任期に関する規程の一部改正について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(10)教員の休職について

人事課長から、教員の休職について、資料に基づき説明があり、審議の結果、提案どおり、教員の休職が了承された。

(11)名誉教授候補者の選考について

人事課長から、各学部から名誉教授候補者として推薦のあった18人に対し、「琉球大学名誉教授称号授与規程」及び「琉球大学名誉教授授与規程に関する申合せ事項」に基づき適用条項の説明があった。引き続き、各学部長等から、名誉教授候補者の功績説明があり、その後、名誉教授の可否について投票が行われた。

投票の結果、18人全員が出席評議員の3分の2以上の同意が得られ、名誉教授の称号を授与することが了承された。

(12)学術国際部の組織再編（案）について

総務部長から、学術国際部の組織再編について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

6. 報告事項

(1)平成20年度補正予算について

財務企画課長から、平成20年度補正予算について、資料に基づき報告があった。

(2)全学教員人事委員会の審議結果について

大城副学長から、第66回全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。

(3)琉球大学特命職員（Ⅰ・Ⅱ）就業規程について

人事課長から、琉球大学特命職員（Ⅰ・Ⅱ）就業規程について、資料に基づき報告があった。

- (4) 国立大学法人琉球大学と独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構との間における学術交流に関する協定書（日本語訳）（案）について

平副学長から、国立大学法人琉球大学と独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構との間における学術交流に関する協定書（日本語訳）（案）について、資料に基づき報告があった。

- (5) 学生表彰（３月期）について

学生課長から、学生表彰（３月期）について、資料に基づき報告があった。なお、去る３月２３日の学部卒業式及び大学院修了式において、表彰した旨の報告があった。

- (6) 後期日程試験の実施について

新里副学長から、去る３月１２日、１３日に実施された後期日程試験が無事に終了した旨の報告があった。

- (7) 学生援護会への寄附状況について

新里副学長から、３月１６日現在の学生援護会への寄附状況について、資料に基づき報告があった。

- (8) その他

- ① 「融解する境界 やわらかい南の学と思想・２」の発行について

学長から、「融解する境界 やわらかい南の学と思想・２」が発行された旨の発言があった。

- ② 琉球大学６０周年記念事業（寄附事業）について

宮城副学長から、後援財団理事会にて、寄附事業について審議した結果、寄附事業の目標が、総額２億円（うち後援財団１億円、同窓会６千万円、学内４千万円）となった旨の発言があった。

また、学長から、記念式典等については学内施設等で行い、資料を基にした記念誌を作成したい旨の発言があった。

- ③ 平成２１年度琉球大学新任教員研修について

新里副学長から、琉球大学に採用された新任教員を対象に、平成２１年度新任教員研修を４月９日（木）に法文学部新棟１１４講義室において実施するので、新任教員へ周知してほしい旨の説明があった。

- ④ 任期満了に伴う委員の紹介について

学長から、３月３１日付けで任期満了となる部局長等の紹介があった。

- ⑤ 事務系幹部職員の人事異動の紹介について

井手副学長から、４月１日付けで他の機関に異動する事務部の部長及び課長について紹介があった。